

江東区長 殿

申請書の提出日を記入してください

令和〇年〇月〇日

申請書を提出した方のお名前を記入してください（本人・親族・ケアマネジャー等）

届出者住所 江東区〇〇1丁目1-1

氏名 江東 陽子

電話 △△△-×××

(R5.4)

江東区高齢者救急通報システム利用申請書・確認書

住 所：江東区 東陽4丁目11-28-〇〇〇		建物名称：〇×マンション	
住居状況：自家（一戸建て・共同住宅）・都営/区営住宅・借家（一戸建て・共同住宅）・その他（ ）			
電話番号： 3647-9468		通報があった際はこちらの電話番号に警備会社から状況確認の連絡をします（携帯電話可）	
世帯状況：高齢者単身・ <u>高齢者のみの世帯</u> ・日 ※日中（夜間）独居による利用の場合は、本申請書に加え同居者の就労・在職証明書等の提出が必要です。			
利用者	(ふりがな) こうとう たろう	身体状況、病名及び日常生活の状況	
	氏名 江東 太郎	昭和〇年〇月〇日生 80歳	慢性心不全・脳梗塞(R3年に救急搬送)
	要介護度等：未申請・申請中・非該当(自立)・事業対象者・要支援() <u>要介護(2)</u>		慢性疾患等の病名・症状や救急搬送歴等の身体状況について記入してください
事業所名：〇×居宅介護支援事業所 (電話) 〇〇〇-〇〇〇			
※上記以外の同居の高齢者も利用する場合は、下欄にも記入してください。			
※同居の	(ふりがな) こうとう はなこ	続柄	身体状況、病名及び日常生活の状況
同居の高齢者も利用する場合記入してください	江東 花子	妻	昭和〇年〇月〇日生 80歳 狭心症・ペースメーカー有 要支援1

緊急連絡先 (第1連絡先)	緊急事態が発生した場合は、下記親族、関係者等に連絡を願います。			
	氏名 (ふりがな)	住所	電話	関係
	江東 陽子	江東区〇〇1丁目1-1	△△△-×××	次女
居住管理者 (第2連絡先)	緊急搬送された場合等の住宅の管理は、下記親族、関係者等に依頼してあります。			
	氏名 (ふりがな)	住所	電話	関係
	江東 一郎	〇〇県〇〇市1丁目1-1	〇〇〇-×××	長男
連絡事前	機器設置等に関する警備会社		希望の場合「本人」と記入)	
	氏名 (ふりがな)	住所	電話	関係
	江東 陽子	江東区〇〇1丁目1-1	△△△-×××	次女

高齢者救急通報システムを利用したいので、次の事項を確認し同意の上、申請します。

利用者署名 江東 太郎 代筆者氏名 江東 陽子 (関係 次女)

※ 利用者が署名できない場合は、代筆者が利用者署名欄に利用者氏名を代筆の上、代筆者氏名も記入してください。

利用者ご本人のお名前をご署名ください

査及びサービスの提供のため、留邦人等支援給付及び介護

利用者署名欄を代筆した場合代筆した方の名前を記入してください

報、居住状況、所得江東区が調査するこ

- 2 当事業申請後、利用者に関する情報を長寿サポートセンター、介護支援専門員、江東区社会福祉協議会、東京消防庁及び江東区がサービスを委託する警備会社と共有することに同意します。
- 3 江東区高齢者救急通報システム運営要綱第7条に基づき決定された利用者負担額を、機器を設置した日の属する月の翌月分から機器を返還した日の属する月分まで、警備会社へ毎月口座振替により支払います。(日割り計算はしません。)
- 4 サービスの利用に際し、自宅の鍵を警備会社に一式預けます。また、機器の設置又は撤去に伴う必要な破損(ねじ穴、コンセント等の改造を含む。)の責任を江東区に問わず、住居の原状回復義務は利用者が負います。
- 5 救急通報を発し、確認電話に回答しない場合は、警備会社等関係機関の住居内への立入りを認め、これにより住宅等の一部に破損が生じても、修復責任を問いません。
- 6 機器の貸与の目的に反して使用し、譲渡し、貸し付け、又は担保に供しません。
- 7 利用申請書に記入した内容に変更があった場合は、速やかに江東区へ連絡します。
- 8 貸与された機器を必要としなくなった場合は、速やかに江東区へ連絡の上、機器を返還します。
- 9 設置後に実施する機器の保守点検等に協力します。また、利用者の責めに帰すべき理由により、貸与を受けた機器の全部又は一部を毀損又は紛失したときは、速やかに江東区に連絡の上、警備会社へ実費を賠償します。
- 10 利用者要件に該当しなくなった、利用者負担額の未払い、又は事業目的を逸脱した通報(身体介護を目的とした通報等)を繰り返した等により、江東区から機器の返却を命じられた場合は、速やかに機器を返還します。

受付：

利用者負担額